

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	272400425		
法人名	社会福祉法人峰寿		
事業所名	グループホームゆりの家		
所在地 (電話番号)	〒037-0202 青森県五所川原市金木町字芦野200番地242 (電話) 0173-54-1391		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 19年 9月 9日	評価確定日	平成 19年 10月 31日

【情報提供票より】(平成 19年 8月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 13年 11月 1日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	18 人	常勤 18人, 非常勤 人, 常勤換算	18人

(2) 建物概要

建物構造	木造造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	0 円	その他の経費(月額)	12,000 円
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	260 円	昼食 260 円
	夕食	260 円	おやつ 実費 円
	または1日当たり		780 円

(4) 利用者の概要(8月 1日現在)

利用者人数	27 名	男性 8 名	女性 19 名
要介護1	9 名	要介護2	7 名
要介護3	6 名	要介護4	3 名
要介護5	1 名	要支援2	1 名
年齢	平均 78.1 歳	最低 62 歳	最高 94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	公立金木病院・今歯科医院
---------	--------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

家庭的な環境のもと、利用者的人格を尊重し「楽しい生活」「安心できる生活」をモットーとして管理者と職員間で利用者の希望に添うよう取り組んでいる。地域の中の暮らしに溶け込もうと日々のケアに努力されている。自然豊かな好環境の中で利用者はゆったりと落ち着いて穏やかに過ごされ、職員は明るい笑顔で安心と信頼関係のある暮らしづくりがうかがえた。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	居室での環境について、白のカーテンが指摘され模様をいれることで改善され利用者も満足されていたが、その他の課題については、改善が見られなかった。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 3ユニットで自己評価の理解を深め確認しているが、さらなる取り組みに期待したい。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 推進委員会は8月にはじめて開かれ、グループホームの概要から説明されていた。メンバーとして家族、地域の民生委員、市町村の方が入っているのので今後は定期的開催し、グループホームの理解を得ていくという管理者の力強いことばがあった。今後に期待したい。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11) 家族との関係もよく、寄せられた意見をケアプランに組み入れているが、実践ではサービスの運営に反映されていない部分もあり、今後は寄せられた意見を確認し、サービスに反映し支援することが望まれる。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 町会の一員としてグループホームが理解されるように、行事の時だけでなく、農作物を通して会話するなど顔なじみの関係をつくり、地域の方々が行き来できる環境づくりに期待したい。

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人としての基本方針があり、グループホーム独自の理念をつくり楽しい生活、安心できる生活が掲げられている。		地域生活の継続や地域との交流に関する項目も取り入れ、地域密着型サービスの役割を理念へ盛り込む事が望ましい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	月1度の会議の時、理念について話し合っているが、共有が図られていない。		管理者は理念を日々の中で職員に様々な場面で共有出来る機会をつくる事が望ましい。
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	行事の時(夏祭り・文化祭)以外はあまり交流がない。		町会の一員としてグループホームが理解されるように、行事の時だけでなく、農作物を通して会話するなど顔なじみの関係をつくり、地域の方々が自由に行き来できる環境づくりに期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>前回評価でのアドバイスにより一部改善が図られているが、全体的に自己評価及び外部評価を活かした改善がみられない。</p>		<p>さらに評価の意義を理解し、日々の生活において、利用者本人並びに家族からの意向がさらに反映されるよう、全職員が一丸となって改善点を見出しサービスにつなげる事を期待したい。</p>
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は今年8月に初めて開催された。今後3ヶ月に1回開催予定であり、メンバーは家族や地域、市町村の方々も入っている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>必要時に電話での連絡をとっている。</p>		<p>ホームのサービスについての理解や支援を継続されるような働きかけに期待したい。</p>
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>職員は研修会などに参加し、理解している。対応が必要な利用者への支援が出来る体制がつけられている。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>勉強会を実施し、職員は虐待はしないという強い意識を持ち、防止に努めている。</p>		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約を結んだり、解約する時は利用者、家族に十分説明して理解されている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族には年1回生活状況と金銭管理の報告をしている。生活状況は来訪時にも報告している。</p>		<p>特に金銭管理については通帳又は小遣い帳のコピーを添付するなど出納簿をつけ、定期的に家族に報告、確認する事が期待される。</p>
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情受け付けや意見は管理者が窓口となり聞いている。また、投書箱を玄関に設置している。寄せられた意見については検討し、サービス向上に努めている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動は3ユニット内で時々行われているが、管理者は特に配慮して徐々に利用者と同様となるようにしているので影響は少ない。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修会を実施したり、研修会に参加しているが、記録の整理ができていない。		研修会、勉強会の記録の整理をし、それを活用して職員の教育につなげていくことが期待される。また、研修会後のフォローアップも各職員の段階に応じて実施する事が望まれる。
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	年に数回他の事業所と研修会を開催している。その後も電話などで情報交換している。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家族の情報から利用者の生活を把握し、工夫をして馴染める環境づくりをしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は山菜の調理や漬物づくりなど利用者の今できる能力に応じて一緒に行っている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりのニーズを把握し、本人の希望を聞きながら支援している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人、家族からの情報を得て、本人が暮らしやすい介護計画を立案し支援している。		
19	34	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画満了時と症状の変化に応じて、随時見直しをして支援している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の体調に応じて予定日以外の対応や緊急時の訪問宿泊など柔軟な支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居時、本人や家族の希望している医療機関を聞き、受診できるよう支援している。</p>		
22	44	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>法人としては医療連携体制をとって方針を決めているが、現段階では利用者、家族、主治医等と方針は決めていない。</p>		<p>利用者の重度化してきた場合を想定し、現時点から本人の意思、家族、医師との話し合いをしながら家族の同意を得て支援する事が望まれる。</p>
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>介護を展開する時、本人のプライバシーを損ねる事のないような気配りがされているが、面会時の記録等で個人情報を配慮した取り扱いをしていない。</p>		<p>個人情報について配慮し、今後工夫していくことが望まれる。</p>
24	49	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者一人ひとりのペースに合わせて過ごしやすい環境を整え支援している。</p>		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>利用者の能力に応じて、配膳、味付けなど一緒に行い食卓でも食材のおいしさなど話し合いながら食事している。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>週3回の入浴日が決まっており、利用者の希望にそった時間帯の入浴は困難である。</p>		<p>入浴回数だけでなく、本人の希望する時間帯に入浴できるようローテーションの組み換えなどを工夫し、本人がゆっくり入浴を楽しめる支援を期待したい。</p>
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>日常生活の中で、針仕事、野菜づくり、掃除など役割を持ってもらい、利用者の能力に応じた支援をしている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>公園やスーパーへの買い物等の支援をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	勉強会などを通して全職員が理解し、身体拘束しないよう取り組んでいる。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	早朝、夜間帯以外は認知症の対応を考え、鍵のかけないケアに取り組んでいる。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の避難訓練を実施している。消防署の協力はまだ得られていない。		消防署に専門的な立場からアドバイスを頂いたり、地域の方々にもグループホームの理解と協力が得られるよう働きかけが期待される。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	日々の食事内容に於けるバランスや栄養管理は栄養士が確認し管理している。水分は一日1000～1200CCを目安にチェックしているが、記録では達成されていない。		高齢者の身体機能を理解し水分の目安となる必要量を再確認する事が望まれる。
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	インフルエンザ予防接種は利用者、職員全員受けている。感染症マニュアルがあり、職員は手洗いやうがいをして気をつけながら支援している。玄関や所々に手指消毒剤を置き感染予防対策に喚起しているが、ある場所の玄関にオスバン液の洗面器と布タオルが設置されていた。		ペーパータオルを使用する事が望まれる。

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
		居心地のよい共用空間づくり			
34	78	共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室、居間などの共用空間は音量や遮光が適度に保たれている。		
35	80	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は入居時に家族の協力を得て、使い慣れたタンスやベッド布団を持ってきていただき、過ごしやすい環境になっている。		

 は、重点項目。